



佐々木久昭

(公社) 日中友好協会 監事
千葉県日中友好協会 会長

私たちの(公社)日中友好協会は昨年10月来ある創立70周年を迎えた。記念式典や記念事業も準備されたものの、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大により多くの事業がやむを得ず中止や延期となったが、それにもめげず各関係組織・会員各位がそれぞれに創意工夫をこらしつつ、「心から祝意を込め貴重な70年の歴史を継ぎ新時代での活動飛躍」に向けて研鑽を深めておられることに心から敬意を表したい。

振り返って日中友好協会は1950年10月1日、我が国で最も歴史ある民間交流団体として発足以来、常に「民を以て官を促す」の趣意を貫き日中両国の架け橋となって充実した運動に取り組み、両国関係の再建と発展のため重要な役割を果たしてきたところであるが、今日未来にも希望を託せる「日中新時代」を迎えることができたのも、各時代における先人の貴重な活

日中国交正常化50周年を機に 飛躍新時代を

動、ご尽力の積み重ねがあったらこそ重ねて敬意を表したい。もとより、その力の根源は「国交正常化時に盟約した崇高なる精神・理念に立脚した長年に亘る両国民のあらゆる分野での意義ある地道な友好交流の積み重ね」によるものであり、とりわけ国家レベルから各県等地方レベルに至るまでの様々な人的往来、交流が重ねてこられたからこそ確信する。

折しも明年「日中国交正常化50周年」の記念すべき年を迎える。両国は今日まで幾多の難関を克服しながら政治・経済・文化・教育・観光等あらゆる分野で交流を深め、切磋琢磨しながら善隣友好の歴史を積み重ねてきたが、これを好機としてさらなる交流、関係充実が図られる新たな時代が構築できることを願ってやまない。現在、世界各国は大きな変革の時代を迎え、経済繁栄による生活向上はもとより、感染症・人口・資源・地球環境問題解決、恒久平和実現など全人類が希求する重大課題取り組みへのリーダーシップに大きな期待を寄せており、特に充実した経済力と優れた英知・実行力を擁する日中両国に対する役割発揮には格別のものがある。両国の今後の新たな役割に期待せずにはいられない。